

区の新年度予算編成は…？
介護、子育てなど負担軽減を

さくら館・特養、地域包括

今後の社会保障の
主な削減・負担増計画メニュー

《医療》

後期高齢者医療の保険料値上げ

入院給食負担値上げ

協会けんぽの保険料値上げ

区市町村国保の都道府県単位化で保険料値
上げ、徴収強化紹介状なしの大病院受診窓口負担引き上げ
《年金》「マクロ経済スライド」実施。物価下落時
にも実施可能に

支給開始年齢の先延ばし

年金課税の強化

《介護》

介護報酬の削減（財務省は6%削減案）

特養老人ホームの相部屋入所者からの居住
費徴収

《生活保護》

住宅扶助の引き下げ

冬季加算の引き下げ



まちの話題これ
冬の隅田川とその岸辺の多くの鳥たち
定番の鴨、ユリカモメ、川鶴など：

暫くぶりに尾久の原公園を一回
りしたさい、堤防に立ち寄ると斜
面に多くの鳥が川面に向かって休
んでいました。どうもユリカモメ
の群れのようです（写真）。その
向こうには、川鶴が一羽飛来、そ
して、そのそばに冬の定番、鴨が
十数羽、川面を泳いでいました。

年明け2日に町屋6丁目アパート
から隅田川を見ると数十羽の鴨が
群れてゆづくり泳いでいました。
特に冬場は、鴨類、カモメ類が
多く飛来するようです。毎年尾久
の原公園のトンボ池にも鴨がたく
さん飛来するのですが、今年はどう
でしょうか。残念ながら尾久の原
公園は、ダイオキシン汚染から處
です。



横山幸次

区政報告
ニュース

561

2015年1月11日

発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
メール arajcp@tcn-cat
v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5
3895-0504
メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

裏面 町屋地域の話題、第
6期高齢者プランなど

定例法律相談会

2月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、隨時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

新年を迎え、荒川区では、予算編成の最終段階です。区民のいのちと暮らしを守ることが第一の責務である基礎自治体・荒川区がどういった施策を実施するのか、区民の目線で監視する必要があります。

第6期の介護保険は…？

荒川区は、第6期高齢者プラン中間まとめを発表（裏面参照）。注目の介護保険料は、まだ未定。同時に新年度から特養入所が原則要介護3以上要支援の介護サービスの削減が計画されています。本当に安心して住み続け、必要な介護サービスが提供されるのか？やはり、在宅介護と福祉サービスの拡充、多様な施設を地域にバランスよく配置することも急がれます。

さらに年金削減などに加え、介護・医療保険料も値上がりに…。やはり、こうした削減計画から区民の暮らしを守る支援が必要です。

子育て世代への支援：

子どもの貧困がさらに拡大したことが、大きな社会問題になっています。不安定な雇用、低賃金、とりわけ一人親

への連鎖が懸念されています。引き続き認可保育園増設、雇用対策とともに、小中学生の給食費や教材教具への公費負担拡大も急がれます。

その他、産業振興、震災対応策、まちづくりなど各分野の予算での対応も注目です。

区の財政は…？
250億円超の貯金
87億円の大型複合施設建設を推進
タブレットPC導入に毎年6億円投入など
こうした財源はあるのです。当然暮らし応援も十分に可能です。

理作業に入るのですが、早く全面開放され、人と鳥たちの距離がもうと近くになるといいですね。特に大都市では、できるだけ自然の再生をまちづくりの中に取り入れる努力が求められるではないでしょうか。

横山幸次

荒川区町屋地域 新春ウォッチング



年明け、少し町の様子を見て回りました。主な目的は、大地震に対する対応をはじめとする地域の課題を確認するためでした。目立ったのは、地域のあちこちで工事が行われていることです。多くが災害に強いまちづくりの一環のようです。やはり今後の進捗状況が気になりますね。

耐震化を進めるべきです。
耐震化を進めるべきです。
耐震化を進めるべきです。
耐震化を進めるべきです。

黒部分が完了した部分。56丁目の黒枠内が今後計画...



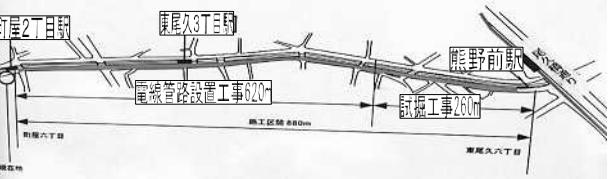
水道管の耐震化工事... 全域での早期実施を

昨年、区の担当者に区内とりわけ町屋地域の水道管の耐震化状況を聞きました。そのときは、きちんととした情報を区も把握していました。水道管の耐震化は、

災害時に飲料水確保と同時に、
消火栓による消火活動を可能
にする確率を高めることにつ
ながります。町屋地域は、木
造密集地域の割合が高く災害
時の危険度も高いとされています。下地図でもわかります

が、水道管耐震化も緒についたばかりです。初期消火の有効性も指摘されています。「危険な地域」を指摘するなら優先的に

町屋の地域内の都電通りと尾竹橋通りで電線類地中化工事が進んでいます。阪神淡路大震災での火災は、家屋での通電火災とともに、電柱の倒壊による通電火災の原因も指摘されています。地中化は、災害時に火災リスクを軽減だけでなく避難路の確保にもつながります。現在は、都電通り、尾竹橋通りにつながる工事ですが、町屋4丁目など震災危険度の高い地域の主要生活道路の対策も必要です。



保育園、幼稚園、児童館... 地域でのあり方が問われます

町屋1丁目の旧町屋ひろば館の解体が終了して空き地に。

その近くでは、「新町屋保育園」(民設民営)の建設工事が進行中。さら

に現町屋保育園は4月以降廃園になり跡地に私立幼稚園...。めまぐるしく地域内の子

育て支援施設が動いています。やはり、子どもの達が

中高生の居場所にもなる「児童館」自由に活動でき、機能の拡充が各地域に必要です。



「荒川区第6期高齢者プラン」で町屋地域は... 「住み続ける」とが出来る保障を作り上げることが必要です

3年に一度の介護保険料の改定もあり、荒川区の高齢者の介護福祉の今後3年間の計画をつ

くります。第6期高齢者プラン

中間のまとめが出されて、1月9日までパブリックコメント(意見募集)が行われてきました。

区民のみなさん、関係者からの意見をまとめて最終案が報告されることになります。

「要介護高齢者が安心して住み慣れた地域で生活を継続できるよう」、「在宅生活の限界点を高める」、「医療介護の連携や地域での支え合い」、「地域ケアシステム」が大きな柱となっています。

どうしたら「住み慣れたまちで最後まで」を実現できるのか、在宅での支援のあり方を言葉だけではなく、これまでの延長線でのサービス内容を超えて、具体的なご意見をお聞かせください。

とも必要だと思います。身近な自治体としての荒川区の対策が求められます。また、国による消費税再増税と介護給付削減をストップし、国民本位に転換することも大きな課題です。

みなさんのご意見をお聞かせ



町屋地域 居宅支援事業	定員
小規模多機能型居宅介護	22
1町屋かどころ	22
夜間対応型訪問介護	0
認知症対応型通所介護	12
1 デイサービスフレスコ	12
認知症グループホーム	27
1 グループホーム町屋あやめ	27
小規模特養ホーム	0
地域密着型特定施設生活介護	0
ショートステイ	8
1 さくら館	8
短期入所療養介護	
1 寺田病院	
2 老健まちや	
合 計	69

